

第30回プラズマ技術委員会議事録

日時： 2007年8月20(月)12:00~13:00

場所： 東京大学工学部

出席者：小野茂委員長(武蔵工大), 行村副委員長(同志社大), 横倉委員(東芝テクノコンサルティング), 市川委員(富士電機デバイステクノロジー), 佐藤委員(室蘭工大), 長山委員(核融合研), 中村委員(中部大), 小野靖幹事(東京大), 池畑幹事(茨城大), 堤井幹事補佐(九州大, 書記)

配布資料：

PST30-1 第29回プラズマ技術委員会議事録(案)

PST30-2 平成18年度球状トカマク調査専門委員会解散報告(長山委員)

PST30-3 核融合炉の経済性向上調査専門委員会の設立(小野委員長)

PST30-4 プラズマ・放電合同研究会(佐藤委員)

PST30-5 IEEE Japan Chapter Operations Committee Meeting(小野委員長)

PST30-6 国際シンポジウム APSPT 2007(小野委員長)

議事：

1. 前回議事録の確認

配付資料 PST30-1 のとおり確認された。

2. プラズマ・パルスパワー合同研究会

プラズマ・パルスパワー合同研究会の開催計画について、委員長から説明があった。佐賀県・呼子において、2008年1月25, 26日開催 [担当：猪原現地委員(佐賀大)] とする。

3. 平成18年度球状トカマク調査専門委員会解散報告

PST30-2 に基づき、長山委員から説明があった。同調査専門委員会は技術報告書を、今年度内に発行する予定である。

4. 核融合炉の経済性向上調査専門委員会の設立

PST30-3 に基づき、新しい調査専門委員会の設置について、委員長から説明があった。調査期間を10月開始にするよう検討することになった。

5. 全国大会のシンポジウム

2008年3月に開催される電気学会全国大会のシンポジウムについて、課題名“プラズマスパッタリング装置の動向とその応用”を中村委員を中心に提案することとした。

6. プラズマ・放電合同研究会

PST30-4 に基づき、2007年9月13, 14日に札幌において開催されるプラズマ・放電合同研究会に関して、佐藤委員から説明があった。

7. 応用物理学会および物理学会との連携について

小野幹事の提案に基づき、電気学会、応用物理学会、物理学会のプラズマ関連部門の協力およびセッション共同開催等について、議論を行った。

報告事項：

1. IEEE Japan Chapter Operations Committee Meeting(委員長)

資料を配布(PST30-5)。

2. 国際シンポジウム APSPT 2007(委員長)

資料を配布(PST30-6)。

3. その他

次回委員会は、京都において、2007年12月21日開催となった。

以上。